

菊澤研宗教授による 【ドラッカー再発見】



講師 慶應義塾大学商学部教授 菊澤 研宗 Kensyu Kikuzawa

ドラッカーはなぜ“マネジメントの発明者”になり得たか

ドラッカーは“マネジメントの発明者”だと言われ、その著書の多くは今もなお経営のバイブルとして多くの経営者の座右書となり、悩める実務家の指針となっていますが、ドラッカーの本質は、「マネジメント」に辿り着くまでの彼の思考の遍歴にあるのではないのでしょうか。
本講座は、昨今のドラッカーブームとは一線を画します。「人間としてどう

あるべきか」を常に問いかけ、自由な経済社会を希求したドラッカーが、企業経営そしてマネジメントの近代化に着目し、その解を見出すまでの歴史、哲学を考えます。

菊澤 研宗

10/12(火)

第1回

18:30～21:30

ドラッカー、その人生と歩み ～マネジメントが生まれるまで～

ドラッカーとはどのような人物なのでしょう。また、彼の思想はどのような流れで展開されてきたのでしょうか。ドラッカーの歩んだ人生、20世紀という時代背景とともに、講座で取り上げる著作の位置づけについて解説します。

10/26(火)

第2回

18:30～21:30

『「経済人」の終わり』を読む ～大戦前夜のドラッカー： 新たな秩序の誕生～

第一次世界大戦によって19世紀的な経済人の社会は崩壊し、その隙間を縫うようにファシズム全体主義が登場しました。しかし、それは何ら新しい社会を描くものとはなり得ませんでした。ドラッカーは、ファシズムが消滅するには、ヨーロッパの伝統的価値観である、自由主義と人間主義を基礎とした新たな秩序を構築する必要があると説きます。

11/30(火)

第4回

18:30～21:30

『現代の経営』を読む ～大戦後のドラッカー： 顧客を創造するとは～

ドラッカーは企業経営の中に、人間の進むべき道を見出しました。企業経営は人間の自由を基礎とすべきであり、その目的は自由を行使することであると説いています。現在においても語り継がれる「事業の目的とは顧客を創造すること」という、自由な顧客創造の帰結にたどりつくまでの流れを追います。

12/7(火)

第5回

18:30～21:30

ドラッカーの経営学 ～経営学に与えたインパクト～

ドラッカーが登場するまで、経済学と経営学の間では「企業の存在意識」をめぐる論争が繰り返されていました。人間の自由な意志を発揮する場として企業経営を捉えたドラッカーの概念により、この不毛の争いは終わりを告げました。ドラッカーが今日の経営学に与えた影響について考えます。

11/9(火)

第3回

18:30～21:30

『産業人の未来』を読む ～戦火のなかのドラッカー： 自由社会がもたらすもの～

第二次世界大戦戦火の中で、ドラッカーは次代の社会の姿に思いをめぐらします。それは、産業中心の社会であり、組織中心の社会でもありました。ドラッカーがどのような思いで戦乱を生き抜いたのか、ドラッカーが思い描いた未来像とともに、自由社会とは何かということを考えます。

12/21(火)

第6回

18:30～21:30

ドラッカーの経営哲学 ～カントの自由論から ドラッカーを読み解く～

ドイツの哲学者カントの説く自由論と人間主義の思想は、ドラッカーの理想とした自由のあり方とよく似ていると言われます。「人間は生まれながら自由なのではなく、自由意志を行使することによって初めて自由になれる」と主張するカント哲学から、ドラッカーの経営哲学の本質に迫ります。

「マネジメント」が 生まれるまでの歴史を知る

「分権化」「目標管理」といった実践的な概念を提唱したドラッカーは、実利優先の経営コンサルタントのイメージが先行しがちですが、実は極めてアカデミックで、哲学的な思考の持ち主です。ドラッカーが、資本主義の新たな主役として企業経営を捉え、産業発展と自律的個人が統合する「マネジメント」の概念を創り出すに至るまでの思考の遍歴を、ドラッカー初期の著作からとります。

開催概要

日程	2010年10/12、10/26、11/9、11/30、12/7、12/21（すべて火曜日）
回数	6回
時間	18:30～21:30（3時間）
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円（税・教材費込）
お勧めしたい方	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラッカーの著作をじっくりと読み込みたい方 ・ドラッカーの思想を通して、現代の経営観、企業観を探りたい方 ・ドラッカーの生き方より、人間としてのあり方を考え人間力を深めたい方

講師プロフィール

菊澤 研宗（さくざわ けんしゅう）

1986年同大学大学院商学研究科博士課程修了。ニューヨーク大学スターン経営大学院客員研究員、防衛大学校教授、中央大学大学院国際会計研究科教授を経て現職。経営哲学学会会長。専門は組織の経済学、戦略の経済学、比較経営論、比較コーポレート・ガバナンス論。

●主な著書

『戦略の不条理』（光文社新書）、『戦略学-立体的戦略の原理』（ダイヤモンド社）、『組織は合理的に失敗する』（日経ビジネス人文庫）

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先（いずれかにチェックを入れて下さい） 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて（必ずお読みください）

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込（振込手数料ご負担下さい） <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度（個人申込のみ）

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度（個人）

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。（『夕学五十講』を除く。）
◆20%割引：105,000円（税込）以上の、『Agora』および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引：上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内に申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。（『夕学五十講』を除く。）過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度（法人）

『Agora』およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。（『夕学五十講』を除く。）詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。